

2021年11月22日
日本生命保険相互会社

脱炭素ファンドへのインパクト投資について

～経済的リターンの獲得と同時に、気候変動問題解決に向けたインパクトを創出～

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、当社子会社である Nippon Life Global Investors Americas, Inc. が運用するファンドを通じ、TPG Capital L.P.（以下「TPG社」）が運用する脱炭素ファンド「TPG Rise Climate, L.P.」（以下「当ファンド」）に、20 百万米ドル（約 23 億円）を投資することを決定しました。当ファンドは、経済的リターンの獲得と同時に環境・社会的インパクトの中でも、特に温室効果ガス削減といったインパクトを創出、計測し、脱炭素社会の実現に貢献するプライベートエクイティファンドです。

当ファンドの実質的運用者である TPG 社は、1992 年の設立以来優れた運用実績を有する米国の大手プライベートエクイティ投資会社であり、経済的リターンの獲得と併せて、投資先企業もたらした SDGs 達成への貢献などの環境・社会的インパクトを定量的に評価するインパクト投資を 2016 年のファンド設立後より行っている最も先進的な運用者の 1 社となります。当社は 2020 年 7 月に TPG 社が運用するインパクト旗艦ファンドである「The Rise Fund II, L.P.」への投資を行っており、これに続く投資となります。

当ファンドでは、主要投資テーマを、「クリーンエネルギー」「環境技術」「脱炭素輸送・移動」「グリーン産業」「農業・自然関連」の 5 つとしており、温室効果ガス排出量の削減に貢献し、脱炭素社会の実現に資する気候変動問題対応に向けた投資を行います。

当社は、生命保険会社としての使命や公共性を踏まえ、環境や地域・社会と共生し、経済・企業と安定的な成長を共有していく観点から、ESG 投融資を強化しており、当ファンドへの投資もその一つと位置付けています。

今後も、持続可能な社会の実現への貢献と契約者利益の一層の拡大を目指し、ESG 投融資に取り組んでまいります。

* 当社はニッセイアセットマネジメント株式会社と投資一任契約を締結し、クレジット投資とオルタナティブ投資の機能を、ニッセイアセットマネジメント株式会社に移管しています。

<https://www.nissay.co.jp/news/2020/pdf/20210304a.pdf>

<当ファンドの概要>

名称	TPG Rise Climate, L.P.
運用者	TPG Rise Climate Management, LLC
投資対象	脱炭素への貢献が期待される未公開企業の株式
投資地域	グローバル
当社投資額	20 百万米ドル (約 23 億円)

以 上